

第134号

令和3年6月号

社協だより



社会福祉法人 笠岡市社会福祉協議会

〒714-0098 笠岡市十一番町15(電話)62-3507(FAX)62-3590



『教えて笠岡社協!!』

～知って得する福祉の情報を
社協職員が伝える楽しい10分間～

ラジオ放送スケジュール
11時30分～11時42分

6月28日(月)【夏ボラ・ボランティアについて】

7月26日(月)【レンタル事業・福祉用具リサイクル】

8月30日(月)【笠岡社協支部・命のバトン】

9月27日(月)【共同募金・社協ラジオまとめ】

※毎週月曜、朝8時に時報も流れています。
9月までの期間限定ですので要check!

◎視聴するには

- ・ラジオはFM79.2
- ・ゆめネット笠岡放送で見る事もできます。
- ・スマホ、PCで聞く時は、右のQRコードを読み込んでください。



なぜ、笠岡社協が
ラジオ???

4月より、笠岡市
社会福祉協議会で
ラジオを始めました。

もともと社協を知ってもらいたい、身近に感じてもらいたい...そんな想いから始まりました。

このラジオを通じて、「社協ってどんな所?」「どんな事をしているの?」月1回、半年間に渡って笠岡社協の取り組みや地域の皆様にもご協力いただきたい活動などを紹介していきます。生放送、楽しい時間をお届けできたらと思っています。



この広報紙は、共同募金の配分金の一部で作られています。

ホームページ <http://kasaoka.or.jp/>

最新情報や福祉用具リサイクル情報の詳細はホームページをご覧ください。

Facebookも更新中!
ぜひ登録をお願いします



社協支部活動紹介

『いきいきサロン』

高齢者の憩いの場として10地区でサロンを実施しています。各地区が工夫を凝らして運営をしています。



『ふれ愛』

幼児育成の手助けとして、富岡東の三宅さんのご好意で、支部内の幼稚園・保育園の園児を招いて、春は「イチゴ狩り」夏は「トウモロコシ狩り」、秋には「さつま芋ほり」を実施しています。



『グラウンドゴルフ大会』

支部内の親睦と健康増進を目的に、交流グラウンドゴルフ大会を実施しました。一打一打に親睦の輪を広げ、有意義な集いでした。



『いきいき100歳体操』

人生100年時代、未永く自分のことは自分でできる体づくりを目標に6会場で体操を実施しています。



社協笠岡東支部

令和2年度は、新型コロナウイルス禍で感染防止を第一に、事業計画の大幅な見直しや行事内容の方法を変更しながら、サロン等を実施しました。今年度も感染予防に努めながら地域福祉活動を推進していきたいと思っています。

(設立)
平成11年

社協高島支部

コロナ禍において社協の活動もいろいろと制限された一年でした。

『健康長寿愛らんど』も給食や懇談、ゲーム、などが中止される中、いきいき百歳体操だけを行っています。

安全で安心して参加出来る活動が大切な事を一番に考えながら健康づくりに取り組んでいます。高島支部は、体調を崩したり、高齢による不参加が増えた一年です。「モビリティ（電気自動車）」が導入され集会やデイスの送迎の送り迎えをして頂けるようになり山道や峠を越えて参加されている方も安心して参加できるようになりました。

幸いにも島嶼部ではコロナ感染者が出なかったけれどマスクが手放せない生活が続きます。買い物に出掛けるのも控えている島での生活を支え



そのほかにも、『見守り活動』、『友愛活動』など、クリスマス会、節分祭、ひな祭り等時に家庭訪問をして安否確認と困りごとが無いかなど、地域全体で安心して生活が出来ることを目指して活動に取り組んでいます。

早くコロナ禍が収束し、笑顔で元氣な生活ができることを望んでいます。



ているのが『婆ちゃんショップ』と言われる買い物代行活動です。月に一回、各自から注文を受けた品物を笠岡の商店に注文して送って貰う活動で当日はソーシャルディスタンスを保ちながら商品を受け取った後、しばしの雑談が情報収集とストレス発散にも役立つと思っています。

(設立)
平成13年

ボランティア

高校生イラスト ボランティア募集!

高校の美術・イラスト関係の部活動に所属する学生を対象にイラストを活用したボランティアを募集します。

■ボランティア対象者

高校生の美術部・イラスト部員

■募集内容

(1) イラストのモチーフに「ひまわり」を使用していること

(2) 地域を応援したり元気づける内容のもの

■募集期間

令和3年7月21日～

8月31日まで

詳細はホームページ、フェイスブックでご確認ください

今年度の夏の ボランティア体験について

今年度の夏のボランティア体験は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため従来の開催は中止します。しかし、夏休みにむけて新しい形でのボランティア活動を準備中です! 詳細は社協ホームページ、フェイスブックでお知らせしますのでご期待ください!

■問合せ

社協 ☎ 62-35007



笠岡市福祉ボランティア 連絡協議会 新会長ご挨拶

長年会長を務めていただいた前会長からバトンを引き継いだ「笠岡手話サークル」の橋本晴美です。新型コロナウイルスの影響で活動もままならない状況ですが、皆様の力をお借りしていきたいと思えます。力不足ですが、よろしくお願いいたします。

権利擁護センターの 事務所が移転しました

4月1日に「かさおか権利擁護センター」が移転しました。新事務所は老人福祉センターです。これからどうぞよろしく願います。



生理用品の寄付にご協力ください

「生理の貧困」とは、生理用品を買うお金がない、または利用できない環境にあることを言います。

日本でも5人に1人の若者が「金銭的理由で生理用品を買うのに苦労した」という実態が明らかになっています。そこで、社会福祉協議会では、新品の生理用品(ナプキン・布ナプキン・タンポン・サニタリーショーツなどの)の寄付・回収ボックス(Cotton post)を新しく設置しました。いただいた物品は、生活に困って生理用品の購入が難しい方に提供していきます。

「声を上げにくいことだからこそ、そとサポートしてあげたい」購入費の寄付も受付しています。皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いします。

■回収BOX設置場所

老人福祉センター
サンライフ笠岡・保健センター
笠岡市立図書館

■受取方法

老人福祉センター窓口へお越しください

■問合せ

社協 ☎ 62-35007



回収BOXを設置して下さる
団体さんも募集中です!

地域包括支援センター

介護予防シリーズ^{③③}回目 「地域をのぞいてみよう &お知らせ版」



コロナ禍の中、検温・消毒・換気など感染予防を図りながら百歳体操を開催しています。現在、笠岡市内では72カ所の会場で百歳体操を継続しています。（状況によりお休みされている会場もあります）

新たに参加を考えられている方は、包括支援センターまでお問い合わせください。

また、今年度も市の広報で百歳体操の連載をします。会場紹介などを予定しています。是非ご覧ください。

問合せ先…

笠岡市地域包括支援センター

☎(0865)62-6662

会場紹介

富岡地区のみなさん

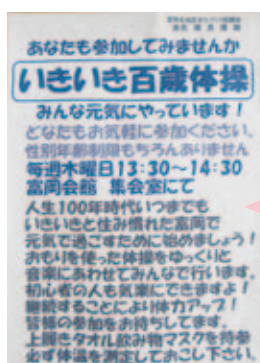
急な坂道を登り切った所に富岡会館があります。歩いて来る方も、車で来る方もおられます。既に富岡東地区が体操を始めていましたが、中西地区からも「私たちもぜひやってみたい」という声が上がりました。「住み慣れた街でいつまでも元気に暮らせるように」とまちづくり協議会が主催し、平成30年秋から中西地区も加わり、新たにいきいき百歳体操が始まりました。

ラジオ体操のあと、DVDを見ながらいきいき百歳体操が始まります。そのあと、タオル体操もします。約1時間しっかり身体を動かします。

初期から参加されている方が「体操で足腰が丈夫になったことを感じている。続けて体操をすることで、効果があると思う。」と言われている。また、「退院したばかりだが、みんなの顔が見たいので来ました」という方もいました。筋肉をつけるためだけではなく、地域のつながりの一翼も担っています。



参加者募集告知も
手作りにし、
掲示されていました。



認知症について 勉強してみませんか？

認知症サポーター養成講座の受講者を募集しています。

講座内容

認知症の症状・診断・治療
認知症の人の気持ちの理解
(DVD・寸劇)など

対象者

市内在住・在勤の方
(5人以上のグループから
申込出来ます)

申込み先

笠岡市地域包括支援センター
(☎02-66662)

講座希望日の2ヶ月以上前に
申込み下さい。

※参加費無料

※コロナ感染予防を図りながら
開催します。

今年度より

オレシリングに代わって

「認知症サポーターカード」を
お渡します。



認知症一口メモ

◆認知症が心配になった時の相談は？

「この頃、物忘れがひどくて不安…」と一人で悩んでいませんか？

「もの忘れが出てきた」「料理や買物、お金やお薬の管理などができなくなった」「病院にかかりたいけれど」など認知症に関する相談内容はさまざまです。

困ったことや迷ったときに、相談できる相手を持ちましょう。

一人で悩まず、相談できる場のひとつとして地域包括支援センターを「活用ください」。

◆介護の悩みを一人で抱え込んで いる方の相談先は？

介護をされるご家族には肉体的にも精神的にも大きな負担がかかります。周囲の理解が得られず辛い思いをしたり、身近に相談できる人が居なかつたりして一人で悩みを抱え込んでしまつ方も多いのが現状です。

適度に息抜きをし、リフレッシュすることも必要です。

認知症の人と家族の会

毎月第1火曜 13時～
サンライフ笠岡

笠岡市介護者の会

毎月第2水曜 13時30分～
老人福祉センター

包括支援センターへの認知症相談件数
(R2年度495件相談全体の9.2%)

《主な相談内容》

医療受診、介護サービス利用、認知症の症状、金銭管理や服薬管理など

包括のお仕事【コラム】

『あんだ、包括じゃろ。何とかして…』地域でよく言われる言葉です。

「近所の心配な方を地域の方は本当に気にされて、見守り、時には直接的な支援をしていただいています。」近所の『もう限界』のSOSがこの言葉に現れています。

私たちも出来る対応の全てを検討し支援にあたらせていただいています。支援対象者には複合的な課題を抱えている人が多いです。

困難ケースの場合、私たちから見て最終解決は施設入所、入院や治療など(誰かの目が届きながら生活する場の提供と身体状況の改善)となる場合が多く、市と一緒になって「一時の安全を図ることもあります」。(包括は市から委託を受けている民間団体の職員のため強制的な権力はなく)しかしながら現在利用できる制度や病状、年金額、預貯金、親族の有無等によって限られた選択肢を提案せざるを得ない場合もあり、信念、信条の違いにより本人や家族の拒絶を受けることも多くあります。

その後の支援を受け入れてくれず、明らかに生命に直結すること以外は辛抱強く信頼関係を築いていかなければ進めません。

(次回に続く。記事不定期)

保健センター内にあります



地域包括支援センターでは、物忘れや認知症の相談から、高齢者の身体生活介護の相談を受けています。出張相談もできます。お気軽にご相談ください。
笠岡市地域包括支援センター
住所：笠岡市十番町1-3
☎02-66662

『介護者の会』 会員募集中

笠岡市介護者の会は、在宅で介護されている介護者が交流しお互いの悩みを話し合うことで心身のリフレッシュを図ることを目的に活動しています。私たちと一緒に『ホッと心安らぐ時間』を過ごしませんか。男性介護者の入会も大歓迎です！

■年会費 1,000円

■活動日

毎月第2水曜 13時30分～

■場所

笠岡市老人福祉センター会議室

■連絡先

社協 ☎62-3507



介護教室の開催



グラウンドゴルフでリフレッシュ！

『笠岡ことぶき大学』 開講式を開催しました

60歳以上の方の生涯学習の場『笠岡ことぶき大学』が開講し、今年度は、274名が入学されました。式典後の基調講演は、フリアナウンサー井上いつのり氏をお招きし、「人生100年時代、第二の人生をどう生きるか？」という題目で、大変実りのあるお話をいただきました。

受講生は年間を通して募集しています。

いつまでも若々しく活動に励みましょう！



《井上いつのりさん流 元気の秘訣》

- ① 一日一回大声で笑う
- ② 一日十回人と接触する
- ③ 一日百字書く
- ④ 一日千歩歩く
- ⑤ 鰻頭は一日一個まで

元気はつらつ『老人クラブ』

笠岡市老人クラブ連合会では、今年度もコロナ感染に気をつけながら、元気に活動しています。

市老連新会長のご挨拶



宇根山 肇

この度平野前会長さんの後任として、会長に就任いたしました。

まずは前会長さんのご尽力に對し心より感謝申し上げます。そして、伝統ある笠岡市老連の会長として皆さんのご推挙頂いたことに身の引き締まる気持ちでいっぱいです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

役員皆様方のお力添えをいただきながら、老人クラブの活動が少しでも前進するよう、努力したいと思っております。今年度も「コロナ禍拡大のため、各行事が思うようにできない状態ではありますが、会員皆様方のご協力を賜り、後しばらくの間自粛して一緒にこの危機を乗り越えましょう。」
「待てば海路の日和あり」を願っています。

職員紹介



地域包括
支援センター
廣江 暢子



かさおか
権利擁護センター
小寺 美来

久しぶりに古里に帰ってきました。職場ではフェリーの汽笛を聞く二日が始まったなと感じます。知らないことがたくさんありますが、二日も早く地域の方々のお役に立てるようになりたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

4月より権利擁護センターに配属になりました。大学までは違分野を学んでいたのですが、学びと吸収の毎日です。

福祉の現場はまだ慣れませんが、福祉で活躍されている方々の背中を見て成長していきたいと思っています。社会人年目の未熟者なのでご迷惑を多々かけるかもしれませんが、日々邁進してまいりますのでどうぞよろしくお願い致します。

社会福祉協議会へのご寄付 ありがとうございます

令和3年2月1日〜令和3年4月30日(敬称略)
※掲載についてご了承いただいた方のみ、お名前を記載させていただいております。

満中陰志

亡父 小野良典(入江) 亡父 谷本和司(山口) 亡父 西江敬一(押撫) 亡夫 篠原玲子(茂平)
亡母 徳山政士(吉田) 亡父 守本純一(甲賀) 亡父 守屋茂男(東大戸) 亡母 仁科宜洋(今立)
亡父 高森通夫(横島) 亡父 高木康弘(山口)

忍び草

一般寄付

亡父 渡辺公子(大島中) 公益社団法人笠岡愛の善意銀行

あなたの会費が地域の福祉を支えます

会費納入にご協力をお願いします

社協会費からはじまる 地域福祉への参加

社会福祉協議会は市民の誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指し、市民や関係機関と連携しながらさまざまな事業を進めている民間団体です。

社会福祉協議会の財源は笠岡市からの受託金、補助金、介護保険事業収入、そして社協会費が主な財源となっています。

社協会費は市民の皆さまや法人の方々の参加やご協力によって地域福祉活動を進めるために最も重要な役割を果たしています。

今年度も皆様のご支援、ご協力をよろしく願っています。

会費の種類

普通会費 一世帯あたり 年5000円
賛助会費 一人あたり 年1,000円
特別会費 一口あたり 年5,000円

社協会費の使いみち

市民の皆様や法人の方々からの社協会費によってこれらの福祉活動が支えられています。

地域福祉活動の推進

市内に20の地区社協があり、ふれあいと支え合いのあるさまざまな地域福祉活動を展開しています。

ふれあいいきいきサロン 友愛訪問
子育てサロン 福祉教育の推進
いのちのバトン設置

ボランティアの推進・育成

ボランティア団体への助成
夏のボランティア体験事業
ボランティア養成講座など

福祉団体への支援

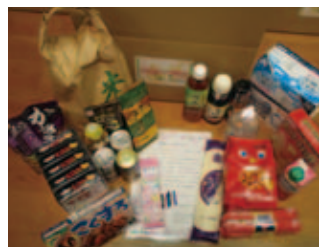
老人クラブ等福祉団体へ助成

その他

敬老会への助成 無料法律相談
ほのぼの相談 食の支援 災害見舞金など



MOG / MOG ～こども元気プロジェクト～



新型コロナウイルスの影響を受け、生活にお困りの子育て世帯を対象に、食の支援を始めました！

皆様からご寄付いただいた食品を、食の支援を必要としている子育て世帯にお届けしています。♥

長引くコロナ禍で、生活の厳しさは増す一方、先行きも見えず、外出先もなく、相談先もない、不安な毎日を送っている子育て世帯が地域の中に存在しています。

「もったいない」を「ありがとう」へを合言葉に、これらの未来を担う子どもたちの元気のために活動をしていきます。本活動を継続して行うためには、地域の皆様、市内企業、団体の皆様のご協力が必要です。本活動にご賛同いただける方は、社協までご連絡ください。

このステッカーを知っていますか？



食の支援に賛同して、ご寄付を頂いた企業や個人の方に協力者ステッカーをお渡ししています。あなたの行きつけのお店にも貼ってあるかも?!探してみてくださいね(^^)／

寄付をいただきました！



・少林寺笠岡道院 様 (写真)
・原田良子 様
ありがとうございます。
有効に活用させていただきます。

サンライフ笠岡

〈特別講座受講生募集〉

◆自分流の片付け方を知る！

日 時：6月22日(火)

13時30分～15時

参加費：無料

定 員：20人

申込締切：6月15日(火)

◆エコラフトのカゴバック講座

日 時：6月29日(火)

9時30分～15時

参加費：800円

定 員：15人

持参物：筆記用具、木工用接着剤、

はさみ、30cmものさし、

昼食、洗濯ばさみ

(10～20個)

申込締切：6月23日(水)



※申込み・問い合わせ先
サンライフ笠岡 ☎63-15033

ふれあいほのぼの相談

民生委員、ソーシャルワーカーなどによる介護相談、生活相談などの一般相談をおこなっています。「話す」という少しの勇気で変わることもあります。お気軽にとぞ。

① 民生委員による相談受付

毎週木曜日10時～15時

② 社協職員による一般相談

平日8時30分～17時15分



無料法律相談

弁護士による無料法律相談
先着順での受付です。予約はお早めに。同じ方からの相談は、1年に1回となります。

毎月第3金曜日14時～4名まで

相談時間：1人30分以内

要予約：☎62-35007

福祉用具をゆずってください

「自宅ですらなくなった福祉用具、ベビー用品、学生服が必要な人にお譲りする活動をしています。譲りたいもの、譲ってほしいものがございましたら、社会福祉協議会までお問い合わせください。HPでもご覧いただけます。

◆ゆずってください

介護用ベッド(3モーター)、杖、車いす、シャワーチェア、シルバーカー、こども用食事椅子、背もたれつきシニアシート

(問合せ)社協 ☎62-35007

共同募金が福祉活動の資金を応援します！

赤い羽根まちづくり福祉活動助成

「見守り」「助け合い」の地域福祉活動に積極的に取り組む団体や、孤立を防ぐための活動を行う団体に対し活動費を助成します。

歳末たすけあい地域福祉団体活動助成

地域の福祉事業について多様な活動を展開している地域福祉団体の活動を支援します。

募集期間	令和3年5月6日(木)～6月30日(水) 必着
対象団体	NPO・ボランティア・福祉活動団体やグループ等
予算総額	103万円
助成金額	5万円以内
助成期間	令和3年4月1日(水)～令和4年3月31日(木)の事業
申込方法	申請書類を揃えて、笠岡市共同募金委員会へ申し込み
選考	令和3年7月下旬(予定)
交付日	令和3年10月1日

お申し込みお問い合わせは、笠岡市共同募金委員会(笠岡市社会福祉協議会) ☎62-35007 ※HPで詳細がご覧いただけます。

前年度助成を受けた団体より『ありがとう』のメッセージ

島内にベンチを5箇所設置しました。ベンチに座って休憩すると通りがかった方と話に花が咲き、健康維持地域のつながりに貢献でき、広い年代の人に喜んでもらえています。



認知症カフェの運営資金で申請をしました。コロナ対策のパーティション材料費の購入費用やカフェの賃料、光熱費などに活用しました。来場者の参加費だけでは赤字のため助かりました。



車椅子貸し出ししています

笠岡市社会福祉協議会では、車椅子の貸し出しを無料で行なっています。病院への受診やお出かけの移動手段としてお気軽にお問い合わせください。借りられる場合はご印鑑を持参の上、笠岡市社会福祉協議会までお越しください。(原則介護保険で車椅子のレンタルができる方を除きます)

